会 議 録

- 1 会 議 名 木更津市立公民館運営審議会第1回定例
- 2 開 催 日 時 令和5年5月 17 日(水)14時00分～16時30分
- 3 開 催 場 所 木更津市立中央公民館 B館3階多目的ホール
- 4 出席者氏名【公民館運営審議会委員】19 名
根本 修身 小出 京子 小山百合子 石川 泰子 高木 厚行
石田美穂子 青木 健 市川 一成 実形 昭夫 平野 進
山口 宗治 室前 恵子 秋元 豊 原田 洋子 小倉 博史
澤邊 賢司 鈴木 和幸 山下紀世美 鶴岡 俊之

【公民館長】15 名
水越 学 (中央公民館) 鈴木 加津也(畑沢公民館)
唐鎌 勲 (富来田公民館) 出口 雅彦 (東清公民館)
相場 明彦 (岩根公民館) 多賀 一也 (清見台公民館)
佐藤 千明 (鎌足公民館) 竹内 康博 (岩根西公民館)
岡田 清治 (中郷公民館) 江尻 益男 (西清川公民館)
星野 隆弘 (富岡公民館) 河野 勝 (波岡公民館)
小倉 敏幸 (文京公民館) 渡邊 祐二 (桜井公民館)
石井 一彦 (八幡台公民館)

【金田出張所】1名
石田 美鈴(金田出張所長)

【事務局職員】2名
進藤 颯 (中央公民館事務員)
宮城三津子 (会計年度任用職員)
- 5 議題及び公開又は非公開の別 公開
議案1号 委員長、副委員長の互選について
議案第2号 各種委員の選出及び推薦について
(1)君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会理事の選出について
(2)木更津市社会教育委員の推薦について
(3)木更津市図書館協議会委員の推薦について
(4)木更津市生涯学習推進協議会委員の選出について
議案第3号 令和5年度年度公民館重点施策及び公民館事業計画について
各公民館の事業計画説明
- 6 ミニ研修会 「公民館運営審議委員の役割」
講師:高橋栄二氏(富津市社会教育委員議長)
- 7 傍聴人の数 0人

8 会議概要 任期交代に伴う委嘱状交付式後 開会 以下のとおり

山下事務局 第1回定例会の開催にあたり、委員の出席状況についてご報告いたします。木更津市立公民館運営審議会運営規則第6条第1項に、会議は委員の2分の1以上の出席がなければ開くことができないと規定されております。

本日の出席状況ですが、定数20名のところ、19名のご出席をいただいております。過半数に達しておりますので、会議は成立いたしております。なお、本会議は公開制となっておりますので、予めご了承ください。

それではこれより、令和5年度木更津市立公民館運営審議会第1回定例会を開会いたします。

まず、本日は、教育長、部長に出席いただいておりますので、ご紹介いたします。

木更津市教育委員会 廣部昌弘教育長

木更津市教育委員会教育部 秋元淳部長

ここで、委嘱後初めての定例会ですので、議事に入る前に、

各公民館長、事務局、各委員の皆様の自己紹介をお願いいたします。

公民館長・事務局・委員の自己紹介

ありがとうございました。

ここで、廣部教育長・秋元部長につきましては、このあと公務がございますので、退席いたします。

山下事務局 続いて、議長の選出でございますが、従前より委員長に務めていただいております関係上、委員長が選出されるまでの間、仮議長を選出して議事を進行して参りたいと存じます。

仮議長の選出について、いかがいたしましょうか。

委員より 事務局一任の声

山下事務局 それでは仮議長には、秋元委員を指名させていただきますので、宜しくお願いいたします。恐れ入りますが、仮議長席までお席の移動をお願い致します。

秋元仮議長 秋元でございます。委員長が選出されるまでの間、仮議長を務めさせていただきますので、ご協力のほどお願いいたします。 それでは議事に入ります。

議案第1号「委員長及び副委員長の互選について」、事務局より説明願います。

山下事務局 木更津市立公民館運営審議会運営規則第1条で、「委員の互選により委員長及び副委員長2名を置くものとする。」と規定されておりますので、委員の互選による選出をお願いいたします。

秋元仮議長 只今説明のありました委員長及び副委員長の互選について、いかがいたしましょうか。

委員より 事務局一任の声

秋元仮議長 事務局一任とのご発言がありましたが、ご異議ございませんか。

委員より 異議なしの声

秋元仮議長 事務局案がありましたら、ご提案いただけますか。

山下事務局 先日、旧役員に集まっていたいただき協議したものを案として提案させていただければと思います。

秋元仮議長 只今の事務局提案について、ご異議ございませんか。

委員より 異議なしの声

山下事務局 それでは、これより提案をさせていただきます。

委員長には(青木健 あおきたけし)委員、
副委員長には(鶴岡俊之 つるおかとしゆき)委員、
ともう1名なのですが、当初予定していた委員が先日急に辞職となりましたので、1名については空席として、後日みなさんにお諮りしたいと存じます。以上、ご提案いたします。

秋元仮議長 只今、事務局から提案がございました。ご承認いただける方は、挙手をお願いいたします。

全員承認

秋元仮議長 委員長及び副委員長が承認され決定いたしました。

これをもちまして、仮議長の席をおろさせていただきます。
ご協力、ありがとうございました。

山下事務局 秋元委員、ありがとうございました。

只今選出されました委員長及び副委員長の皆様、恐れ入りますが議長席までお願いいたします。
それではここで、新委員長、副委員長にそれぞれご挨拶をお願いしたいと存じます。

新委員長・副委員長挨拶

山下事務局 これより青木委員長に議長をお願いいたしますので、宜しくお願いいたします。

青木議長 これより、議長を務めさせていただきますので、ご協力のほど宜しくお願いいたします。
議案第2号「各種委員の選出及び推薦について」、事務局より説明をお願いします。

山下事務局 君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会役員の選出につきましては、会則第6条第3項により、任期が2年となっており、今年度が役員改選の年にあたるため、新たに理事若干名を選出させていただくものです。

なお、内規により会長、副会長、監事は4市の輪番制になっており、今期は木更津市(理事)より副会長1名を選出することになっておりますので、併せて候補者の選出をお願いいたします。

木更津市社会教育委員につきましては、令和5年3月31日をもって任期が満了となりましたので、新たに委員1名を推薦させていただくものです。

木更津市図書館協議会委員につきましては、令和5年6月30日をもって任期が満了となるため、新たに委員1名を推薦するものです。

木更津市生涯学習推進協議会委員につきましては、任期途中でありますので、引き続き、秋元委員にお願いをすることで承認を得るものです。以上、よろしくお願いいたします。

青木議長 只今、事務局より説明のありました各種委員並びに候補者の選出・推薦につきまして、いかがいたしましょうか。

委員より 事務局または議長一任の声

青木議長 事務局または議長一任とのご発言がありましたが、いかがでしょうか。

委員より 異議なしの声

青木議長 各種委員並びに候補者の選出・推薦につきまして、事務局案がありましたらお願いします。

山下事務局 各種委員並びに候補者の選出・推薦を提案させていただけたらと思います。

青木議長 只今、事務局より各種委員並びに候補者の選出・推薦の提案が示されましたが、ご異議ございませんか。

委員より 異議なしの声

青木議長 異議なしと認めます。

それでは、事務局より各種委員並びに候補者の選出・推薦の提案をお願いします。

山下事務局 それでは、ご提案申し上げます。

君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会理事若干名につきましては、委員長及び副委員長がその職を兼ねることとしておりますので、(青木)委員、(鶴岡)委員、にお願いしたいと存じます。また、輪番制である同会の副会長には、委員長の(青木)委員に、お願いしたいと存じます。

木更津市社会教育委員は、副委員長の(鶴岡俊之)委員にお願いしたいと存じます。
木更津市図書館協議会委員は、(小山百合子)委員にお願いしたいと存じます。
木更津市生涯学習推進協議会委員は、引き続き(秋元豊)委員にお願いしたいと存じます。
以上、宜しくお願い致します。

青木議長 只今、事務局から候補者の提案がありました。ご承認いただける方は、挙手をお願いいたします。

挙手賛成多数

本議案は承認されました。選出されました各委員の皆様、よろしくお願いたします。
それでは只今選出されました委員の方々より、ご挨拶をいただきたいと存じます。自席で結構ですので、順次宜しくお願いたします。

挨拶

青木議長 ありがとうございます。

次に、第3号議案「令和5年度公民館重点施策及び公民館事業計画について」に入ります。
はじめに、中央公民館水越館長より公民館重点施策について説明を求めます。
委員の皆様には、各公民館の重点目標及び事業計画に関する資料を事前に配布してあり、あらかじめ目を通していただいているかと思えます。全体を通して、何かご質問やご意見などがあれば後ほどお伺いいたしますので、よろしくお願いたします。

水越館長 はい、私、中央公民館長の水越が全館を代表致しまして、令和5年度の公民館の重点施策・目標についてご説明させていただきます。資料の1頁目をご覧ください。そちらに今年度の目標等を記載してございます。今年度、

目標1、公民館利用者の拡大でございます。いよいよコロナも5類に下げられました。公民館としてはこのコロナ禍でサークル解散、休止が増加し、市民の学習活動が低下している状況でございます。フリースペースへの取り組みと合わせて、市民の学習活動の活性化、令和時代のサークル育成に積極的取り組み、公民館利用者の増加に向けての利用推進を積極的にとりかかって参ります。合わせて木更津の魅力を発信する事業を展開し、市、公民館への関心を高めてもらい、利用者増を考えて参ります。また昨年度、経営改革課の棚卸にて指摘されました事業の共有化について全館で取り組む課題として

います。
目標2、地域自治への活動支援でございます。まちづくり協議会のサポート事務局として支援、助言を積極的に行います。合わせてまちづくり協議会の自立を働きかけ、住民が地域課題を自ら見つけ、解決していくという組織へ促して参ります。

目標3、デジタル社会への対応支援となります。引き続き市民に寄り添いながら、スマホ教室等を実施し、デジタル社会への支援、応援を行います。また、予約システムの更なる利便性を図るために、主管課と協議を進めて参りたいと思えます。

この3つの目標を達成する以下の委員会、ブロックを設置します。まず委員会として一つは、連携事業委員会で、もう一つは広報デジタル委員会となります。連携事業委員会では、てくてく木更津わくわく散歩、里山アドベンチャーを計画して頂き、公民館の魅力発信に取り組んで頂きます。また広報デジタル委員会では、デジタル支援事業やホームページ更新などの推進を高めて頂きます。次にある程度地域特性を図りながら、4つのブロックを設定致しました。各ブロック内にて事業の共有化についての施行、推進に取り組んで頂きます。簡単ではございますが、令和5年度の公民館の重点施策・目標と致します。

青木議長 只今説明のありました、令和5年度公民館重点施策について、委員から質問、意見を求めます。発言する際には挙手をし、お名前をお願いいたします。いかがでしょうか。

鈴木委員 はい、議長

青木議長 鈴木委員 お願いします。

鈴木委員 三中学区住民会議の会長ともう一つまちづくり協議会の副会長もしていますが、まちづくり協議会の自立を促すという発言がありましたけど、一言で自立を促すと言われただけでは、まちづくり協議としては、納得できない。後で詳しくお話をさせて頂ければと思いますが、具体的にこういうふうにしていくんだ、ということがあれば、お尋ねしたいのですが、

青木議長 水越館長、お願い致します。

水越館長 はい、今の質問に対してお答えしたいと思います。まちづくり協議会でございますが、そもそもまちづくり協議会の基本理念が地域課題を地域住民が自ら解決していくのが、最終的な目標で市はまちづくり協議会を進めています。もちろん、それではすぐに皆さんが独立して活動するようなことは考えていません。ただ最終的なまちづくり協議会の形、自分たちの地域住民の中で事務局を設けて、できるだけ自分たちで地域課題を見つけて、解決して頂きたいというのが、市民活動支援課、行政の方の目的がございますので、公民館としてはそれが自立できるように、しばらくはこちらでサポートしながら一緒にまちづくり協議会の推進を進めていくと思っていますので、いきなり独立ということはございませんので、少なくともその気持ちを各協議会で進めて頂いて、最終的にはそれぞれが独立して頂きたいかなと思っております。ちなみに岩根西ですとか、富来田地区については、ほぼ自立して、まちづくりの自分たちの地域課題を見つけ出しています。もちろん公民館につきましては引き続きサポートをさせていただきますので、まったくの地域住民だけで運営するというものではございませんので、ご心配なさらなくて良いではないかなと思っております。以上です。

鈴木委員 副会長をしているからといって、まちづくり協議会の代表ではありませんので、誤解しないようお願いします。それだけ会長、組織など二つの独立したまちづくり協議会のお話を伺えればと思

います。西清川だけで話をすると人材がないんだろうな、と思います。そこだけつけ食わせて頂いて質問を終わります。以上です。

秋元委員 はい、議長

青木議長 秋元委員お願いします。

秋元委員 すいません。今非常に良い質問ですが、1時間2時間かかると思いますので、私は、公民館のブック事業で近隣の公民館同士が連携してものごとを進めるのは非常に良いことだと思います。私が公民館運営審議会委員になった時は、基本的にコロナ禍になっておりまして、その時に公民館の職員なり事業を見てきましたけれども、はっきり言いましてアップアップの状況があったんです。それでいて本来であればこの同じようなスタイルで動くんでしょうけれど、その連携の関係とかですね、事業の見直しとか、事業からいかに効率を目指すか、そういうのをやっていかないと職員のみなさんが潰れるのが目に見えてます。そういう意味では私は、公民館の職員はもっと増やせと言っております。ほかの市町村は増やしてますから、当然、教育長も公民館が地域の基礎になっているわけですから、職員を増やせと、増やさないんだったら事業を見直せと、そういうのをきちんとやらないと、良いことばかり並べても、結果なにも身にならない。何も議論になってなくて、何も変わってこない。この間、役所の中で多く見られていますので、その辺を徹底した方がいいのかなと思います。公民館で私もまち協の役員ですが、公民館でいろいろな事業をやっております。公民館の負担を少なくしてどのように行か、常々考えながら進めています。公民館はいろいろな地域の方が集まって来て参加したり良いことなんですけど、請け負ってる職員の負担も考えていかなければいけない。と考えておりますので、その辺、水越君は良いこと言っているんだけど、本当にできるのとはっきり言いつて、そういうところ私は聞きたい

青木議長 水越館長、お願いします。

水越館長 秋元委員ありがとうございました。公民科は歴史は50年以上になりますが、今の公民館の実情を見てみますとやはり以前は、職員も充実していましたし、専門職、社会教育主事がほぼ全館に配属していました。現在は、専門職もほぼ残っていません。公民館と致しましては、貸館を行っているイメージにどうしてもなってしまうんですが、実態と致しましては、市の一番近い行政の窓口ということで、市のいろんなセクションの業務を行っている訳です。その中で合わせて社会教育の事業も進行しているという状況でございますので、今、目標として掲げた大使を抱け、気持ちはその目標をもって、これは行政の方にも PR をしていかなければいけないのかなとは思っておりますけれども、大使となって今年度事業に取り組みながら、職員の充実に関しても、上司の方には話をしていきたいとは思っております。公民館、先ほど話の中にありましたけれども、事業の共有化、いいのではないかという話がありました。公民館職員、少なくなってきました、それまでの事業の質の低下なども館によって非常に差が出てきている。それと合わせまして少子高齢化で、これまで社会教育に関心をもつ

ていた年代の方たちが、なかなか集いにくくなってきた。子ども達も非常に少なくなってきた。その中で、昨年度もそうだったんですが、今年度は更に進めてブロックの中で共有して事業の一本化みたいなものにチャレンジできないかなと思っています。なにしろ手探り状態で公民館の地位、行っていることを是非知って頂きたいと私の方としては思っておりますので、是非、皆さんのお力添えを頂ければと思っております。

青木議長 他にご意見、質問等がないようでしたら、続いて各地区公民館の事業重点目標および事業計画について、各公民館長より説明をお願いします。なお、5館ごとに区切りその都度委員より質問、意見を求めます。説明については、時間の関係で要点のみ簡潔に2分間をお願いいたします。
はじめに、中央、富来田、岩根、鎌足、中郷公民館からお願いします。

水越館長 中央公民館です。

今年度は、コロナ感染に注意を払いながらも、職員一同 以前の日常を取り戻す事を意識した館運営を積極的にイメージし心がけていく所存でございます。

事業においては青少年・高齢者・家庭教育など、コロナ禍で得たデジタル技術を活用した事業も引き続き取り入れてはまいります。館としては積極的に人と向き合う・直接的なコミュニケーションを取れる様な体験型の事業に取り組んでいく必要があると考えております。

特に青少年事業においては、学校では取組づらい「生」の体験にこだわり運営していく方針です。

また、この3年間でサークルの解散が相次ぎ利用者数が大きく減ってしまいました。

学習活動の再開と活性化を推進していくために、積極的に主催事業などとおしてサークルの育成を促してまいりたいと考えております。

簡単ではございますが、今年度の事業方針とさせていただきます。

唐鎌館長 富来田公民館の今年度の事業を説明させていただきます。

今年度の経営方針は「富来田地区の生涯学習・社会教育活動の拠点として、地域に根ざした公民館活動を推進する。

住民が安心して暮らすことのできる地域づくり及び地域活性化に寄与するための支援を行う。」です。

青少年に関わる事業では体験活動を重視し、参加した児童生徒の達成感や充実感、地域への関心を高めていけるよう工夫してまいりたいと思います。具体的な事業としては富岡公民館と共催で実施していく陶芸教室やわくわくヘルシークッキングなどは、人気もあり、更に充実した活動にしていきたいと考えます。また富来田地区の農業に関心を持ってもらうために地域の方が主催する里山農業体験塾と連携し、梅やジャガイモ、サツマイモなどの栽培や収穫を体験させたり、収穫した農産物を使い調理したり、味わったり、富来田地域のふれあいを大切にした事業を行ってまいります。また、まちづくり協議会や青少年健全育成会と連携し、コロナでできなかったふるさと祭やコスモスフェスティバル、キャンプや花いっぱい運動など今年度は積極的に進めていきます。

高齢者に関する事業では、高齢者の方々が健康で生き生きと充実した生活ができるよう健康づく

りやいきがいづくり、仲間づくりが充実するような講座を開設していきたいと考えております。富来田地区は高齢化が地域課題の一つでもあります。高齢者が生活の中の楽しみを見つけお互いにつながりを広げられるような活動を工夫していきたいと考えます。このような中で今年度、富来田地区包括支援センターを中心にいきいき広場(コミュニティカフェ)を開催し、初回は40名を超える高齢者が参加し楽しい時間を共有することができました。

これ以外にも事業計画で乗せさせていただいておりますが、住民が安心して暮らすことのできる地域づくりや地域活性化の支援など、地域のニーズに応えられるよう活動していきたいと考えています。

相場館長 岩根公民館より、今年度の事業について、ご説明いたします。資料は〇ページをご覧ください。

岩根公民館の経営方針は、「地域に根ざした公民館活動を推進し、また来たいと思う温かい公民館」を目指しております。この方針のもと、外郭団体、サークル、小中学校と連携、連絡を密にしながら、重点目標に沿って各事業を実施する予定です。

重点目標の1では、地域の青少年教育に対する学習・体験活動の提供です。昨年度実施できた事業が何でも体験教室の「お飾り作り」と「You 遊 イングリッシュ」、子どもサイエンスを各1回ずつでした。今年度は、年中行事に応じた親子でも楽しめる内容の提供、サタデースクール事業の回数を増やす方向で計画を進める予定です。コロナによって少なくなった体験活動を意識した内容を計画していきたいと考えております。それにより、子どもや若い世代の父母が親子で参加することで若年層の利用者拡大を図っていききたいと思います。

重点目標の4では、コミュニティカフェ事業の一環として取り組んできた「見る・聞く」をスタンスとした、サークルの発表や外部から講師を招いたミニコンサートを実施してきました「にじいろサロン」ですが、受け身の形から、以前の「いわねうたごえ喫茶」のように一緒に歌う参加型を取り入れていく方向です。

重点目標の5では、館報や利用者懇談会での情報の提供、フリースペース活用事業として、各事業・教室など地域住民にとって予習・復習の必要な主催事業については、自主学習スペースの提供に努めて参りたいと考えております。昨年度より実施している、乳幼児フリースペース(はぴちる)事業については利用者也定着してきています。今後も継続していきたいと思っております。

住民会議主催による岩根中学生対象としたナイトウォークは、違った形の取組として中学校と相談していきたいと考えています。

最後に地域文化祭についてです。昨年度、展示・発表・催物と例年通りに実施しました。地域が盛り上がるように発表部門では、外部からゲストも呼びました。今年度はどのような実施の仕方をするか、サークルと検討していく予定になっております。また、岩根中学校とも連携し、地域全体で盛り上がる文化祭になるよう進めていく予定です。

利用者が高齢化の中、地域住民にとって公民館に足を運ぶことが、心身の健康につながるなど生活の活力となっていることから、地域作りや人と人とのつながりを作る一役を担えるように地域と連携していきたいと思っております。岩根公民館からは以上でございます。

岡田館長 令和5年度、中郷公民館事業計画についてご説明いたします。中郷公民館では、地域における生涯学習・社会教育活動の拠点として、地域に根ざした公民館活動を推進してまいります。

重点目標といたしましては、6点あげております。

青少年育成に関する事業といたしまして、夏休み子ども体験教室(サタデースクール)を開催し、学校や家庭ではできない体験をして、考える力、生きる力を育むことを目標に3回の開催を予定しております。

昨年度も、3回の事業を予定しておりましたが、応募が無く1事業が中止となり、他の事業でも参加者が少人数でしたので、今年度は、一昨年実施して好評だった、勾玉づくりや、オルゴール作り等、子どもたちの興味を引く内容での実施を考えております。

また、地産地消の食材を利用した「中郷料理教室」親子参加も昨年に引き続き実施します。家庭教育に関する事業では、昨年度に清和短期大学とコラボして行いました、パパ育児のススメに15組の親子さんに参加いただき、好評だったことから今年度も企業や、学校と連携した事業の実施を考えております。

最後に、地域活動団体の事務局として、まちづくり協議会のGOGO中郷プラント事業や、防災・防犯事業に協力。東清川・中郷地区青少年育成会議中郷分会が主催する、ふれあい夏まつりや、中GOオリエンテーリング、アクアライン側道アンダーパス周辺の環境整備を行います。

これらにより、地域住民と協働・協力・支援しあいながら、健全な青少年育成や、人づくり・地域振興を目指し事業を進めてまいります。

青木議長 ただいま説明のありました、本年度各公民館の事業重点目標および事業計画について、委員より質問、意見を求めます。発言の際は、挙手のうえ、氏名を述べてからお願いいたします。いかがでしょうか。

ないようでしたら、続いて富岡、文京、八幡台、東清、清見台公民館お願いします。

星野館長 富岡公民館は、富来田(とりわけ富岡地区)の生涯学習・文化活動の拠点として、地域に根ざした公民館活動を推進していくため、富来田公民館と連携を密に図りながら事業を展開して参ります。富岡公民館の重点課題と主な取組(事業)について申し上げます。

富岡公民館の昨年度の利用者数は約2500人で、台風被害で文化祭等が中止となったり、コロナの感染が拡がり始める前の年度(平成30年度)の約8割弱まで回復をいたしました。コロナの影響や少子高齢化が進む中で、利用者の減少が最も大きな課題の一つであります。したがって、今年度は、例年開催しております初心者向けの陶芸教室について、教室終了後は、自主運営によるサークル化を図る予定です。

加えまして、新たに生活に役立つ教養講座(書道教室入門)を9月以降実施し、こちらも終了後は、サークル化を目指すなど、サークルの育成と新たな利用者の拡充に努めて参ります。

昨年度オープンした「とみおかにこここカフェ」につきましては、引きつづき、地域の多くの方に足を運んでいただけるよう、主体となる運営委員会を支援いたします。

また、これまで各地区で行われてきた伝統芸能の継承とその担い手不足が地域全体の課題であ

るこ とから、地元の木更津諏訪太鼓さんと連携し、小学生対象の「チャレンジ！ 地域伝統芸能教室」を富来田公民館と共催で実施したいと考えております。参加対象は、富来田地区だけに限定せず、実際に人が集まるかどうかはわかりませんが、結果次第によって、地区文化祭や地域の祭礼などでの発表を目標に、と考えております。

3年目となる「てくてく木更津わくわく散歩」は、今回も、とみおか・ロマン街道の会と連携し、創作紙芝居の3作品目となる「兎献上」、地元出身の剣豪「山田次郎吉」、偉人「松崎九朗平」、「松崎蔵之助」ゆかりの地や、上根岸の名水など、主に上根岸方面を中心に隠れた名所をたどるコースを計画中です。富岡地区文化祭については、公民館運営協力委員会を中心に日程・内容等を協議し、実行委員会主催のもと、10月下旬に開催する方向で検討して参ります。

小倉館長 文京公民館の館長の小倉と申します。よろしくお願いたします。

文京公民館では、社会教育・生涯学習の拠点として、地域住民・関係機関と連携し、安心して暮らせる地域コミュニティの形成を目指して活動を推進して参ります。文京公民館では、今年度は6つの重点目標に沿って16事業を計画しております。

特に、青少年教育に関する事業は、新型コロナウイルス感染拡大により、参加者が減少していましたが、昨年人気のあったホタルウォッチング里山探検を今年度も実施するとともに、短歌教室・将棋・創作教室などを実施し、体験活動をもとに青少年の健全育成の推進を図って参ります。更に、二小の児童を対象とした「ふりースペース」の実施及び地域住民を対象としたフリースペースを行い、若年層や地域の皆様の公民館利用の促進を行います。また、今年度は計画にはありませんが、高校生や若者のため空いている時間帯を開放し、自習時間として活用する工夫も行っていきたいと考えています。

家庭教育に関する事業は、参加者の意見をもとに、栽培・収穫による交流体験や地域の施設見学を行い参加者相互のコミュニケーションを語り、子育ての不安解消や仲間づくりに努めて参りたいと考えています。

その他、高齢者に関する事業としては、健康推進課と連携し、体組成計をもとに健康に関する取り組みや、企業とコラボした健康に関する講演等を実施するとともに、郊外へ足を延ばし、外出の機会や交流の機会が減少した皆様方の繋がりを形成して行きます。

また、ブロック活動による公民館同士の連携による事業実施を推進し、業務の効率化に努めて参ります。簡単ですが、主だった点のみ報告させていただきました。文京公民館からの報告は以上です。

石井館長 八幡台公民館の石井でございます。よろしくお願いたします。

八幡台公民館は、八幡台小学校区における社会教育活動の拠点として、地域に根ざした公民館活動を推進し、豊かな人づくり・地域づくりの実現をめざし、7つの重点目標に沿って、全26の事業に取り組んでまいります。

事業の重点目標1から7まで、前年度同様、学校やまちづくり協議会等の地域の諸団体と連携・協力して、コロナ禍前の令和元年度の公民館利用件数と利用者数を超えるよう各種事業の充実を図ってまいります。

特に重点目標7の「各種事務局関係事業」につきましては、新規事業ではありませんが、3つめの「四季の杜音楽祭」を昨年度までコロナ禍で実施できておりませんでした。4年ぶりに開催いたします。

実行委員会を設置し、7月2日に開催を予定し準備が始まっております。日頃の公民館での活動の発表の場として、新しい出会いや交流を生み出し、地域における人と人とのつながりや人間関係を築いてまいります。

今年度も八幡台公民館は、生涯学習、学び合いの拠点としてだけでなく、地域のつながりを深めるコミュニティの醸成や地域づくりの拠点として、公民館の利用団体・サークル、自治会、まちづくり協議会ははじめ地域の諸団体や関係機関と共に歩み、「地域を支える公民館、また地域から支えられる公民館」をめざし、実りある活動を進めてまいります。私からは以上です。

出口館長 東清公民館は「地域に根ざした公民館活動の推進、地域ぐるみでの青少年健全育成」の経営方針のもと7つの重点目標に沿った24の事業を計画しています。そのうち、新規の事業とまちづくり協議会と連携して行う事業について発表します。

新規事業については、少しでも年齢が下の利用者層を開拓していくことを狙い、成人に関する事業のうち、巷で人気の高い「トールペイント」「パッチワーク」「ヨガ・ピラティス」を開催します。今年度はどれも講師を招いて行う講座ですが、参加者から続けてやっていきたいという声が上がった場合はサークル活動に育ってほしいという願いを込めて実施します。特にトールペイントは本格的にやると時間が長くかかるため、サークル活動としてじっくり作品作りに取り組めるようになると良いと考えています。またピラティスは人気の講師をお呼びすることができたので多くの方に参加していただき、条件を整えばこれもサークルに育つといいと思っております。

まちづくり協議会との連携事業としては、公民館で行っている東清シニアカフェや防災教室について、参加者が徒歩で参加できる東清地区の方が大半を占めているところがあり、ほたる野や清川地区の方の参加があまりないという現状があります。そこで公民館で行っている内容を地区の公会堂等で行い足が無く公民館に来られない方に対応したいと考えています。

併せて社会福祉協議会の生活支援体制整備事業の一環として今年度より清川地区担当の生活支援コーディネーターが派遣されたので、まちづくり協議会と連携していただき、状況の把握・望まれているニーズの確認から始められる事業を模索していく橋渡しを現在行っている公民館の事業を生かしながらやってきたいと考えています。

また、ホームページを活用してサークルの活動の様子などを発信していき、今までと違う利用者層開拓の一助にしたいと考えています。

多賀館長 清見台公民館では、生涯学習・社会教育・地域づくりの拠点として、利用者や住民に寄り添いながら、地域に貢献できる人づくりと、誰もが安心して暮らせる持続可能な地域づくりを目指した公民館活動を推進いたします。

今年度は、4つの事業重点目標に沿って24事業を計画しております。

青少年教育に関する事業では、清見台・太田地区まちづくり協議会主催、青少年育成太田中学区住民会議共催により、今年度から清見台小学校で実施しております、児童と地域ボランティアの方と花の苗を植えてもらい、日頃の感謝を込めてプレートを添え、地域の事業所等に送ることで、地域を活気づけ、児童と地域の交流を行っておりますが、今年度から、太田中学校の生徒さんとスマイルフラワー運動太田中学校版フラワー運動を実施いたします。

また、家庭教育に関する事業は、乳幼児から小中学生の保護者を対象に、子育ての不安、悩みを解消するための支援事業を行います。

次に、清見台・太田地区まちづくり協議会等の関係団体と連携した事業については、防災・減災をテーマにした各地区での防災講演会の開催や避難所開設訓練、防災イベントの実施や、コミュニティカフェ等による地域の高齢者が気軽にあつまれるような身近なたまり場づくり等を、引き続き、進めていく予定です。

最後に、今年度、開館40周年に当たることから、記念式典の開催や記念誌の発行のほか、記念文化祭の開催や、40周年記念事業として、6月4日に、第30回清見台音楽祭を3年ぶりに清見台公民館で活動している音楽関係サークルの発表会を清見台公民館附属体育館にて開催します。

以上です。

青木議長 ただいま説明のありました、本年度各公民館の事業重点目標および事業計画について、委員より質問、意見を求めます。発言の際は、挙手のうえ、氏名を述べてからお願いいたします。いかがでしょうか。

秋元委員 はい、議長

青木議長 秋元委員、お願いします。

秋元委員 質問ですが、清見台公民館の青少年に関わるところで、星に願いを運動という事業がありますが、これは星の観察ですが、私も興味があって、

青木議長 多賀館長、お願いします。

多賀館長 星の観察会ではないのですが、これは太田中学校さんの3年生に元気を付けようということで、これからやりたい目標とかを木に付けまして、公民館に掲示して皆さんに見て頂いて、希望を描いた生徒さんの希望が叶うように、地域の皆さんで応援しましょうという形で、行っているものでございます。これは青少年相談員の方が中心となって、以前太田中の校長でした富来田公民館の唐鎌館長のご協力を頂きまして実施しております。

秋元委員 なかなかおもしろくて、私どもいろんな公民館の良いところを盗もうと思っていますので、もしよろしければその時見せて頂ければ、八幡台でもできるかなと考えていますので、よろしく願います。

青木議長 他に、ご意見、質問等ないようでしたら、次に続いて畑沢、岩根西、西清川、波岡、桜井公民館お願いします。

鈴木館長 「思春期の子ども心」を1年間のテーマとし、学校の心の相談員の方を講師に3回、残り2回は思春期の子どもを育てているお母さん方の交流カフェを開催します。

目玉の一つとしては、「思春期語の翻訳 BOOK」の作成です。

参加者から思春期・反抗期の子どもから受ける(浴びせられ乱暴な言葉を心地よく聞こえるように翻訳するものです。)

事業の参加者からいろいろ体験した思春期の言葉を翻訳した形で、年度の最後にまとめようという企画です。

中には「誤訳」もあるかもしれませんが、クスツとしてもらえれば良しとするゆるい企画です。

例えば

思春期語:うるせえ！クソじじい！ 翻訳:静かにしてね。うんこパパ など

思春期語:飯なんていらねえ！ 翻訳:今はお腹 すいていません。 こんな感じです。

最後に、重点目標(4)世代間交流としてポッチャ大会も企画しています。

以上 畑沢公民館でした。

竹内館長 岩根西公民館の令和5年度重点目標及び事業計画について、ご説明申し上げます。

岩根西公民館では、地域住民の最も身近な学習・文化活動の拠点として、子どもからお年寄りまで、誰もが安心して暮らせるふれあいの場となるよう、地域住民や利用者に寄り添いながら、地域に根ざした公民館運営を目指してまいります。

今年度の事業計画についてでございますが、6つの重点目標に沿って17の事業を実施してまいりたいと考えております。

「青少年教育に関する事業」では、小中学生を対象に、伝統文化についての理解や関心を深め、豊かな人間性を育む機会といたしまして、竹灯籠づくりやお飾りづくり、また、いけばなこども教室の2事業を地域の関係機関と連携して実施してまいります。

「家庭教育に関する事業」では、小中学校の保護者を対象にいたしまして、家庭教育充実のため、なのはな家庭教育学級を、また、乳幼児をもつ親の子育て支援や情報交換の場となります、めばえ学級の2事業を実施してまいります。

「高齢者に関する事業」では、ふれあい学級といたしまして、生きがいつくりに寄与できるよう、健康体操や健康に関する学習会等を実施してまいります。

「地域課題に関する事業」では、幅広い層の方々へ呼びかけ、野山ハイキングやスマートフォン入門講座等4事業を実施してまいります。

その他、公民館といたしまして、利用者団体との利用者懇談会、岩根小学校、岩根西中学校との学社連携会議、また、岩根西地区まちづくり協議会等地域で活動する団体と連携しながら、地域のつどいの場を提供するとともに、防災についても連携するなどしながら、より良い地域づくりを進めてまいりたいと考えております。以上でございます。

江尻館長 西清川公民館は、三中学区内に位置し、学区内に第三中学校、西清小学校、祇園小学校の3つの小中学校があります。

それでは、令和5年度、西清川公民館の事業計画についてご説明いたします。

西清川公民館では、誰もが気軽に立ち寄ることができる、地域の社会教育活動や文化活動の拠点として地域に根差した公民館活動を推進するとともに、安心して暮らせる地域の絆づくりとコミュニティ形成を目指しているところです。

今年度は、6つの重点目標に沿って25事業を計画しており、なかでも、主催事業として実施する、歴史学級、にきしよキッズわくわく体験隊、子育てサロン、ワンデイハイキング、健康講座、スマホ講座などの実施を予定しております。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年度は縮小して実施いたしました地区文化祭などのイベントの充実を図るとともに、外出の機会や交流の機会が減少している地域の皆様のつながりを形成し、活動の機会を増やせるように努めてまいります。

さらに、ゆるやかな連携事業などの、公民館同士の連携により実施している事業を推進し、地域の方へ完成度の高い事業を提供するとともに業務の効率化に努めて参ります。

最後に、「だれもが気軽に立ち寄ることができる、地域に根ざした公民館」にするためには、事業の充実はもとより、地域の方々としっかりとした絆を作って参ります。

出口館長 波岡公民館です。令和5年度、波岡公民館は開館30周年を迎えます。10月22日には記念式典を、28日・29日は記念文化祭を予定しております。その点を考慮して、今年は早めに、公民館運営協力委員会議を開催し、記念式典や文化祭に向けての取組みについての話し合いを始めています。

今年度の新規事業といたしましては、波岡公民館を利用して、子どもと高齢者を主なターゲットにした地域食堂「にこハピ」がオープンしました。地域の皆様からたくさんの食材を寄付していただいたり、多くのボランティアの方が参加してくださり心から感謝しています。正式オープンは5月19日(金)からですが、4月21日のプレオープンでは、1時間で用意した食事が完売となるなど大盛況でした。次に、子育てでお困りの保護者やお子様を対象とした「親子応援サロンなないろ」がスタートしました。特別支援の専門家が、基本的に火曜日の14:00~18:00、さまざまな遊びや活動を通して、子どもの成長を見守り支える活動をはじめました。少しずつ口コミで伝わり始めて他市からも参加者がおります。

また、「波岡プレイパーク」が設立され、5月13日、上烏田の田んぼで「どろんこゾーン」「特設スライダー」「焚き火エリア」「ドラム缶風呂」などを設置して、多くの子どもたちが参加して盛り上がりました。公民館主催事業としては、5月20日(土)に、てくてく散歩わくわくクイズラリーを、青少年相談員と共催で実施いたします。今回の目玉は、波岡小の6年生が実行委員として企画から運営まで行うこと、ゴール直前には「釜蔵」さんの「ジェラートが食べられる」という企画にしました。内容は異なりますが、昨年6人だった参加者が今回の企画では、ボランティアを含めるとすでに30名を超えております。このほか現在、企画しているのが、大人はもちろんですが、若い世代や子供を公民館へ呼び込むために、公民館裏のグラウンドを活用して、「青少年相談員」や「にこハピ」や「なないろ」などと公民館が共催で、音楽と飲食を取り入れた夏の音楽フェス「ナイトピクニック」や「親子でキャンプ」、「星空観察会」と言った行事を企画しています。以上です

渡邊館長 特筆すべき事項と致しては、一つは当館のみの事業ではありませんが、新たな年齢層への公民館来館、関心の高まりを期待しつつ、ドローン体験会の実施です。それ相応の年齢層が卒業式、文化祭

等でもご活躍して頂ければと考えとります。

二つ目は、青少年健全育成についてです。異年齢交流、主体的な活動体験として防災や子どもまつりを地域の方と連携して運営するものであります。詳細は今後詰めてまいります。

三つめは、家庭教育学級です。これは継続事業であります。生涯を抱える保護者のためのコミュニティカフェ、思春期の子を持つ事業運営です。思春期については、参加者がいないため実施を見合わせるつもりでいましたが、一部保護者からの要望もあり、要望に応える形で実施するものです。今後とも地域と連携し、また要望にも応えられる公民館運営を考えてまいります。

事業ではありませんが、当公民館では、職員はまず出勤するとトイレ掃除からはじまります。過去にトイレがきたないとの評判があったりもしてようですが、これは社会教育指導員の提案で行っているものです。以上説明とさせていただきます。

青木議長 ただいま説明のありました、本年度各公民館の事業重点目標および事業計画について、委員より質問、意見を求めます。いかがでしょうか。

秋元委員 はい、議長

青木議長 秋元委員 お願いします。

秋元委員 公民館のいろいろなサークルを含めて、これからはじめるところで、桜井、波岡公民館で新しい事業をやろう。それについて住民を巻き込んでやろうは良いことだと思います。私が見てきた公民館の中で、主催事業はほとんどが公民館がほとんど全部をやってあげるような状況が見えてます。ここに住民をかませる。住民がからんでくれば、肝心なことは、公民館の事業参加者に声を掛けると意外とやりたがる。公民館職員はなかなか言わないですが、事業に参加する人たちの受付だとか、そういう人たちをお願いすれば、ちょっと大変ですが、そういう人たちに協力を願っていけば、新たな格好になっていく。八幡台地区でもそうですが、公民館に関わっている高齢者の方は 15～20%の方、後の80%の中の人を少しでも増やせば、利用者数が増えてくる。今、公民館を使っている人はほんの僅かな人なので、ほんの少しでも変えることができるのかなと思っています。今、まちづくり協議会で、公民館を使っていかに中学生を参加させるかを今ずっと行っております。昨年12月に高齢者のスマホ教室を行って頂きました。子ども達も楽しんで、もう一度やりたいという意見も頂いております。今年の夏に計画しております。それと中学生の部活に声掛けすると自分の発表の場がなかなかない。先生もいろいろ大会はあるけど飾るところがない。という話をしますので、公民館で定期的に飾る所をつくる。ちょっとした機転をきかせばいろいろとあると思います。公民館は主催事業を行って大変ですけど、これに中学生が参加したらどうなるのか。機転を変えていかないと、このままズルズルと高齢化して、利用者が減っていきますので、気力を持ってがんばって頂きたい。

青木議長 他にご意見、質問等ないようでしたら、金田地区については、金田出張所の石田出張所長お願いします。

石田出張所長 資料31頁をご覧頂きたいと思います。金田地域交流センターは令和元年度にして管理者が運営をしております。生涯学習につきましては、市民部の金田出張所が担当し、主に交流センターをお借りして公民館事業を行っております。文化祭や図書コーナーは公民館が担っていると思いますが、こちらは交流センターが事務局を担っております。分散されて運営されている現状をご理解頂ければと思います。金田地区の、14歳まで人口が75人 15歳から64歳までの人口が127人増えています。若い人の人口増が金田地区では増えております。生涯学習事業としては乳幼児の親を対象としたなかよしクラブ、子育て世代の親を対象とした子育てカフェを継続開催し、今年度は、小中学生を持つ親を対象とした家庭教育学級を新設します。子育て世代が増えている金田地区の現状と課題として捉え取り組んで参ります。また新しい住民との交流の機会としてまちづくり協議会主催によるコミュニティカフェを続けて行って参ります。また青少年健全育成主催の金田地区通学合宿を今年度は実施を行う予定です。9月下旬に2泊3日の予定で、交流センターに宿泊し、小中学校へ通う計画をしています。実施に向け事務局として取り組んで参ります。また地域交流センターの指定管理者であるサンコーとも連携しながら事業には取り組んでいきたいと思っております。金田出張所からは以上です。

青木議長 ただいま説明のありました、本年度金田地区の事業重点目標および事業計画について、委員より質問、意見を求めます。いかがでしょうか。

ただいま、令和5年度公民館重点施策及び事業計画について概要の説明がありました。

少ない職員体制の中でご苦勞も多いとは思いますが、地域住民とともに、地域課題に取り組みながら、生涯学習及び地域づくりの拠点としての公民館活動が、さらに充実されますことを期待しております。

10分休憩

青木議長 ここからは研修会とさせていただきます。

研修の内容、講師につきましては、事務局から説明をお願いいたします。

山下事務局 今日のテーマは「公民館運営審議委員の役割」です。

講師は、高橋栄二さんです。富津市社会教育委員議長、元木更津市職員でもあります。さまざまな経験からいろいろなお話が聞けると思います。それでは高橋さんお願いします。

高橋講師講演

高橋 こんにちは、今は富津市の社会教育委員をしています。10年前に社会教育委員になりました。職員時代です。社会教育委員会会議で、会議終了後、手を挙げて図書館について質問したいと言いましたら、ストップがかかりました。当時、図書館という言葉は禁句でした。行政上色々問題があって、図書館が議会等で問題があって、ようするに会議で行くと議事録が残りますから、質問する職員が答えなければならなくなり、議事録に残って大変なので、駄目でした。その後ずっと質問できませんでした。過去3回ぐらい図書館について話がありました。議会に上程する手前まで計画ができましたが、それでもつぶれました。そんなことがありました。今回は、イオンさんから富津市に無償ではありませんが、すごい安い金額で部屋を貸すので、

何かに使ってください。という話があってそうです。当時、市役所の方では、教育委員会で図書館が欲しいと欲していたがどうか。という話に教育委員会が是非図書館にと答えたそうです。実はそこで全部話は出来上がっていたそうです。話は決まっていたのに、社会教育委員ははじめての諮問を受けました。木更津市の公民館運営審議会委員の皆さんは今までにたくさんの諮問を受けて答申しています。じつは諮問答申は職員には大変で、それは職員が勉強しなければいけないからです。じつは富津市に図書館がないということで、図書館をどのように有効に使おうか勉強会をずっと行って行っていました。3年ぐらい前に子ども活動の推進を提言していました。その前に各公民館を回って、これは使い勝手が悪いなど行って行っていました。是非、木更津市の公民館の図書室を見て回ってください。先ほど秋元委員が色々述べてくださいましたが、富津市で何もできていません。公民館長は今一人しかいません。あとは一人の人が二つの公民館の館長を兼務しています。それも公民館長を置きたいと言いましたら断られました。富津市の方針で非常勤の館長も置かない。ただし教育委員会議で規則を改正すれば置けると思います。実際に社会教育委員の先生方、校長先生方がいらっやいます。ので出来ないことはないのではないですか。説明しましたがそれでも駄目だといわれました。そんなこともあって非常に苦労したこともあります。なかなか難しいと思います。このようなことは私が一人で言ってきたことで、もっと多くの委員がまとまって、公民館のこと、事業のこと、先ほど秋元委員がお話ししましたが、最近、富津市の図書館で子どもの図書、小むすびの会、子どもの読書を考える会がありますが、公民館カフェもみんなで運営しています。委員になってから色々な文化行事、施設に行っていますが、職員が働かなくても市民の方々が積極的に活動されていました。公民館まつりもそうだと思います。公民館は場所を貸し出すだけ、調整することは市民の力でできます。市民で出来るんだ。ちうことを小むすびの会の活動を見て思いました。全国的に図書館がない市町村は8つ、千葉県はあと夷隅市がありません。中略(図書館のない市紹介)現在の借地の広さで月10万円です。民間で借地だと月100万円以上だそうです。それを借りて建設しました。私たちは委員として何が出来るかを考えたかということ、まず私たちの状況を言いましょ。答申として答えた文章以外に、課の職員の方に言ったことがあります。それは子どもの本を重要視してください。ちゃんと作ってください。図書館司書も4人以上欲しい。文化発信をして欲しい。

定期的なお話会をして欲しいとか、委員さんも一杯いましてので、発言もできるようになりました。

みなさんお願いすることも大変ですけれども、自分の地区の公民館、隣の公民館のことも、文化祭になると視察にも行かれると思います。いろいろな公民館をご覧になると良いと思います。できれば木更津市だけでなく袖ヶ浦市さんや君津市さんの様子を見ておくと様子がわかります。私も仕事を退職してから君津市さんや袖ヶ浦市さんへ行きました。いろいろな話が聞けます。面白い方もいて、地元で美術館を運営していて、手仕事展を開催していて、奥様が染め物を行っているので、その染め物の関係を広めて、いろんな方と繋がっていきます。一つの事から広がっていくことを、是非、みなさんに期待しています。まわりには知らない人が一杯いると思います。富津市の公民館運営審議会の副委員長は鉄道評論家だそうです。お会いしたら良いと思います。とても気さくな方です。私が社会教育委員になったきっかけは、若いときに青少年相談員に成りました。青少年相談員はおまけで成りました。おまけというか、仕事があってなかなか出られませんよ。と言いましたら、先輩がいいからやれと言われ、はい、のその一言です。相談員の事業も1~2期目は以前からの事業を踏襲して行いました。3期目は独自にやりたいことを実施させて頂きました。地区のトップとなりましたので、できました。それで行ったのは、富津でふるさとかるたを作成しました。当時問題

となったのは、読み札をどのように作るか、当時の教育長のところへ行って、夏休みの宿題で五七五の読み札の言葉を宿題に出してください。お願いできますでしょうか。是非、校長会でお願いします。青少年相談員の副会長として行きました。教育長は、わかったよ、一応話はしてみるということで学校校長会議で話をして頂きました。各委員が学校へ行って夏休みの宿題としてお願いしました。3200程度作品が集まりました。どのように整理するか、小中学校の先生方に社会教育部会がありまして、先生方がきれいにまとめていました。これを使わせてください。それで44作品を選びました。当時はパソコンがなくて、ワープロでひたすら打ち込みました。その後標語を選出し、かるたにしたいと説明しました。かるたにしたい理由は、30周年事業が次の年だったので、これに合わせて実施したいと行政に言いましたら、お金はないよ。予算はないから、行政からは資金をもらえなかったの、会長に相談した結果、みんなでお金を集めることに、できる前から各所に回って買ってくれませんか。とお願いしました。その結果 1000 部は超えることがわかりました。1000は作成しようと作りました。ただし絵は大変です。当時大学生の方で絵を描く方がいてお願いしました。経費がありませんからお願いして、下書きのできる方にもお願いして、44作品からイメージする絵を描いて頂きました。これも人間関係です。公運審さんは地域の方ですから、いろいろな方をご紹介頂いて、木更津市全体が発展するようにお願いしたいと思います。自札の裏にきちんと裏書がしてあります。文化財審議員の方がたくさんいて、注記を頭を下げてお願いしました。わかりましたやりましょうということで書いてくれました。言葉も国語の先生とかいまして、うまく並ぶように教えてもらいました。言われたのは五七五が良いと教えて頂きました。バカ貝がありましたので、差別用語では、と NHK に問い合わせしてみました。いろいろやっていくと人間の繋がりができてきます。是非、そういうことをお願いしたいと思います。先ほど後ろの方で聞いていましたが、公民館の事業報告を聞いていると疲れますよね。委員の皆さんは、自分のところの公民館でじっくり聞かれた方が良いかと思います。いいことをやっています。自分のころよりは、コロナで大変でしたが、コロナだったから千葉県社会教育員会議で行けないと、リモートで会議を行う。リモートは木更津市はできているのでしょうか、先生が来れなくても、先生がリモートで講義をしてくれる。著名な先生でもリモートができれば講義も可能かなと思いました。IT を進めることも事業に関係することだから、委員さんが館長にいうと館長が教育委員に審議員にこういうことを言われました。ということは言えるようになります。一職員の館長が言ってもなかなかとおらないことが、館長は委員の総意として発言することができます。私は一応、公民館運氏審議員の仕事として4つ程書きましたが、最近、高齢者だと言ってサークルが減るということがあります。なかなか厳しいですよ。インターネット予約も、お年寄りになると難しい、館長が対応しているのを見たことがあります。そういう対応をしている公民館はすごいなと思います。そういうきめ細かな対応して頂きたいと思います。それからサークルの代表が来ていると思いますが、サークルはどのようにしたら発展するかな、区長や自治会長も公民館で地域のどのようなことができるかな、私が公民館に居たときに、校長先生が公民館に来るといろいろな情報が得られます。ここが発信源となっていていろいろな繋がりができる場だといっています。公民館は事業を行うだけではなくて、地域のネットワークづくりにも使われて行くのではないかと思います。そういう場であって欲しいなと思っています。こいこもできるということも是非皆さんの力で考えてみてください。あとは子どもたちの繋がり、学校との繋がりも難しいと思います。学校の事業の中にどのように公民館が入っていけるのか、これが一番難しい。私が来た時に、学校の授業の中にこれを入れてくださいと恐ろしくも頼んだことがあります。大変だと思います。年間カリキュラムの中に入れてもらう訳ですから、ですから早い時期にお願いして、来年やりたいと思った

ら、今から計画を前もって伝えておく、地域で何ができるのか、そんなトライを是非お願いしたいと思います。公民館のことができるのは、公民館運営審議員のみなさんです。社会教育委員は、公民館、図書館、博物館全部です。全部できる人は正直いません。12~13人、富津市もいますが、いろいろなタイプの人があります。すごいのは老人クラブの会長、自治会長などの代表の方が委員に入っています。区長会で、起きたことを情報は審すれば、そういうことがあるんですか、情報が伝わっていく。例えばそれぞれの地区で行っていることの情報を提供すると各地域に情報が発信できます。ここだけでなく各委員さんが情報を発信、交換していけば、地域に情報が広がっていきます。得た情報を、できたらそういう話を公民館長へしてあげる。それによって新しいものができるかなと思います。昔、文京公民館に勤務している時に、第二小学校へ行って、これは小学1~2年生にできますかと聞いたことがあります。たまたまユニークな方だったので、1時間の時間を頂きました。これはなかなか大変でした。あとは館長の力、館長あつての公民館ですが、職員は言われた通りに勤務していました。利用者が少なくなった、今は職員問題もあります。それから公民館の規模など、私の時代には、ブロック制とか今後公民館をどうするかなど問題がありました。今は、中央公民館も移転する問題もあります。中央公民館は今のままでいくのか、単なる施設になってしまうのか、気になっています。公民館の配置、体制、も、みなさんの大きな役割です。公民館は何が足りないですかね、水越館長を若い時から知っていますが、結構大胆なことをやる方です。鎌足公民館がはじめて土足化して、えっそれは誰がそうじするんだ。と言ったくらいです。そういうことを実践された方です。とても新しいことをする館長ですから、みなさん館長さん、中公民館長を後押ししてあげてください。ありがとうございました。

山下事務局 質問、ご感想などお聞かせ頂ければありがたいのですが、

高橋講師(追加講演)

図書館ができることによって、図書館の条例ができること。予算がつくこと。家賃年間120万円、それに維持費図書購入費と一番反対されたのが民間委託です。これは当時の富津市の規模からいって、司書を採用するのは無理だと思ってに、とても洗礼された司書の委員さんがいます。それはうんと言われました。それから図書館運営審議会ができます。募集で二人採用しました。選ばれた六人のうちの二人の募集原稿を見ましたら、図書館のことをここまで考えているのか、そういう人がいることがとても大事だと思います。前期までの社会教育委員の中から一番図書館に関心のある方が、委員になることになっています。6月になると次も委員なるかどうかはわかりません。わかっていることは、4月の社会教育委員会議で、PTAと学校長とその他関係の方が、承認が5月の教育委員会議で通らないと進まないと聞いていますので、富津市の社会教育会議はかたちになりません。今年度からは私のやっている君津地方社会教育員会議は、袖ヶ浦市の会長さんになる予定です。袖ヶ浦市さんも7月にならないと社会教育員会議が明らかにならないようです。昨年度、お願いして行ったことは、コロナの関係でできなかった君津地方社会教育振興大会を1月にやりました。来年度以降は、1か2月にやることになります。これも日本製鉄と相談しまして、日本製鉄がおこなってるクローバー賞とタイムアップして頂くのは可能でしょうか。と聞くと、調整はできるということになりましたので、これも誰かに引き継いでいこうと思います。今年度の大会の担当は木更津市ですので、木更津市さんがいろんな内容を考えていると思います。会場はどこにするのか、今後協議して決まって

いくと思います。そんな状況があります。富津市の学校に子どもに読み聞かせをする方が結構いまして、その方々の繋がりもテーマです。今日ここにたくさんの方がいらっしゃっていますが、私たち1年間のうけた社会教育委員の定例会と臨時会、校長が毎回十数人いました。委員が十数人、その中で私は内をしたかという会議では質問をします。質問は議事録に残ります。議事録は公開されて委員さんやいろいろな方が読みます。それが議会で質問となります。是非みなさんいろいろな質問、意見を言って、公民館長がどこへいっても言えるようにお願いしたいと思います。そんな話があります。ごめんなさい。自分の話ばかりで、いいませんでした。

山下事務局 改めて高橋さんありがとうございました。拍手でお礼にしたいと思います。

今、高橋講師より実務的なお話を頂きました。資料の最後に社会教育法であるとか、市の条例規則を掲載しておきました。みなさんお時間のある時にご覧頂いて、こういうことかとお理解頂ければと思いますので、よろしくお願いします。

最後に令和5年の年間計画が書いてあります。今日が1回目で、この後、4市の公民館運営審議会の総会が6月30日金曜日、午後予定をしています。会場は君津市の周匝公民館ですけれども、この後、みなさんには詳しいご案内を差し上げたいと思います。また高橋さんから話がありましたが、1月か2月に君地方社会教育振興大会がありますので、皆様にはまたご案内を差し上げます。この市の公民館運営審議会ですが、本日5月1回目、9月に2回目、12月に3回目、3月に4回目、年4回の定例会が開催されますので、期日が決まり次第、皆様にはご案内したく思ので、是非お集り頂いて、ご審議頂ければと思います。それから今年度は、1月26日の金曜日、千葉県公民館研究大会があります。これについても皆様には是非ご参加頂きたいということで、ご案内致しますので、ご参加をお願いします。そして先ほどの各館の事業計画説明がありましたが、文化祭が10月の最終週か、その前の週に開催されます。今年も公民館運営審議会として10月29日に公民館運営審議会の文化祭視察に出かけたいと思います。どれくらい見るか、何館見るか等、また役員の皆さんと相談して、9月の定例会でご案内したいと思います。29日、お時間の許す限り、各館の文化祭をご覧頂ければありがたいと思います。よろしくお願いします。連絡事項としては以上です。

それでは、これで第1回定例会を終わります。